

子ども読書支援センターニュース

第28号

山梨県子ども読書支援センター 2018.9.30

本誌は、県民の皆様へ山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。



第2回子どもの読書オープンカレッジを開催しました。

平成30年7月12日(木)に、「Let's理科読『水たまれんず』」と題して、NPO法人ガリレオ工房理事の土井美香子氏を講師に迎え、講座を実施しました。図書館司書や小中学校の学校司書、保育士、ボランティアなど、子どもの読書に関心を持つ44名の方の参加がありました。

講師の土井先生は親と子の読書活動に長年携わり、科学の本を読む活動「理科読」の出前授業を全国

各地で実施しています。今回の講座では、理科読についての説明の後で、絵本『みずたまレンズ』を



▲講義の様子



▲新聞紙の花びらが開く様子を観察

使った理科読のプログラムを体験しました。読み聞かせを行い、実際に様々な植物にじょうろで水をかけ、水滴が丸く盛り上がる葉と流れて落ちてしまう葉があることを確かめました。また、新聞紙で作った花を水に浮かべると、毛細管現象により花びらが次々と開く様子を観察し、さらに、水がインクを連れて紙をよじ登っていく性質を利用し、コーヒーフィルターに描いた水性インクの色を分解して、カラフルなしおりを作成しました。読み聞か

せの後で、実験などの体験活動と一緒に行うことで、よりしっかりと科学的な見方が子どもの中に定着するとのことです。

参加者からは、「科学の本を子どもたちと共有することに少し難しさを感じていたが、生活の中に入り込んでいく科学と結びつけていくことでこれから楽しめそう。」「理科読の楽しさ、魅力がよくわかり、これからまず自分で読んで、子どもたちと実際にやってみたいと思った。」などの感想が寄せられました。

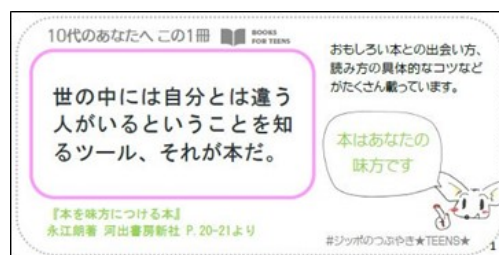


▲インクの色が分かれていく様子

Twitter(ツイッター)で中高生向けの本を紹介しています。

平成30年6月末から、週2回程度、山梨県立図書館のツイッターで中高生におすすめの本を紹介しています。本の一部を引用して掲載し、山梨県立図書館キャラクターのジッポが、その本のおすすめポイントをつぶやいています。山梨県立図書館のツイッターをフォローしてご覧ください。

■URL https://twitter.com/lib_pref_ymns/



平成30年度「児童青少年サービス実施状況調査」を公開しました。

山梨県内の児童青少年サービスの充実を目指し、毎年、県内公共図書館を対象にした「児童青少年サービス実施状況調査」を実施しています。今年度の調査(平成29年度実績)は当館のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

■URL http://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/30305.html

平成30年度子ども読書支援センター前期活動報告

子ども読書支援センターでは、下記の活動を行っています。平成30年4月～9月の実績を報告します。

・見学対応

保育園児等への読み聞かせ	2団体 33名
小学生への読み聞かせ及び施設見学	3団体 63名
中学生の施設見学	3団体101名
高校生の施設見学	1団体 3名

・職場体験、インターンシップ受入

中学校職場体験	11校18名
高等学校インターンシップ	6校 6名

・講師派遣

絵本の読み聞かせ研修会講師	3回(3団体66名対象)
---------------	--------------

